



BS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナ

SAN-40B1

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故にすることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

- お使いのBSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）の取扱説明書を、あわせてご覧ください。
- 本機は、BSアナログ放送（従来のBS放送）とBSデジタル放送、110度CSデジタル放送を受信できます。
- BSアナログ放送を受信できれば、アンテナの向きを変えることなく、BSデジタル放送と110度CSデジタル放送も受信できます。

Sony Corporation © 2000 Printed in Japan



下記の注意を守らないと感電・落下により死亡や大けがの原因となります。

危険な場所での取り付け及び危険をともなう作業はかならず専門業者に依頼する

屋根の上や高所のベランダの外側、壁面など滑り落ちたら危険です。また、電線のそばの設置も感電の原因となり危険です。

高所での取り付け時、本体や部品類の落下に注意

落下により下にある物を壊したり、下にいる人にあたって死亡や怪我をさせることがあります。

雷が鳴り出したら本機には触れない

感電の原因となります。



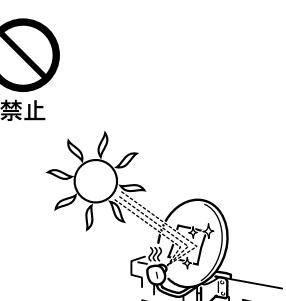
天候の悪い日は取り付け作業は行わない

風で部品が飛ばされて人や物に危害を加えたり、雨や雪のため滑りやすく転んで怪我をするなど危険です。



アンテナの表面を加工しない

アンテナの表面にシールを貼ったり、表面を磨いたりしないでください。アンテナが太陽光を集めて反射てしまい、コンバーターを焦がすなど火災の原因となります。



組み立て時、ネジ、ボルト類は確実にしめる

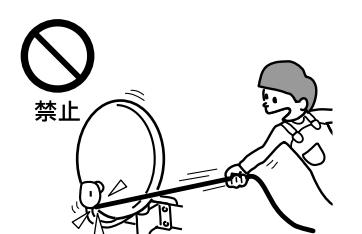
ゆるいと、ずれたり倒れたりして怪我の原因となります。



下記の注意を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

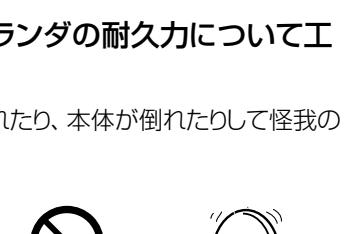
ケーブルは引っ張らない

無理に引っ張ると接続されているアンテナやチューナーなどが倒れ、怪我の原因となることがあります。



ベランダ取り付け時は、ベランダの耐久力について工事施工者に相談する

強度不足の場合、ベランダが壊れたり、本体が倒れたりして怪我の原因となることがあります。



設置後本機には無理な力を加えない

ぶら下がったり、物を引っ掛けたりしないでください。壊れたり、倒れたりして怪我の原因となることがあります。



本機を改造しない

故障や事故の原因となることがあります。



組立時、本機の取り扱いには注意する

本機は金属など固いものでできています。強い衝撃を与えると、落としたりしないでください。怪我をしたり、本機が破損したりすることができます。

また、金属部分は角を取るなどして、指先などに怪我をしないよう配慮した加工がされていますが、手荒に扱うと思われる怪我の原因となることがありますので、ご注意ください。

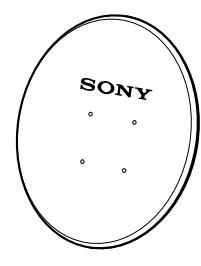


手順1：組み立てに必要な部品を確認する

組み立てる前に以下の部品がすべてそろっているか確かめてください。（）内の数字は個数です。

アンテナ反射鏡（1）

F型コネクター（5Cケーブル用）（1）



防水キャップ（1）

アンテナ取付金具（1）

コンバーターアーム（1）

アーム用ネジ M5×20mm（2）

ボルト M6×80mm（2）、ナット（2）

テープ 市販のものをお使いください。

その他設置に必要な別売り品

サテライト用同軸ケーブル
市販のサテライト用同軸ケーブル（S-5C-FBなど）をお使いください。

ご注意

高い周波数の信号を伝送するため、必ずサテライト用同軸ケーブルを使ってください。それ以外のケーブルをつなぐと故障の原因となります。

アンテナポール 1本

適合ポール直径25.4mm～42.7mm
長いポールをお使いになる場合は、できるだけ径が大きく、丈夫なポールを選んでください。

テープ

市販のものをお使いください。

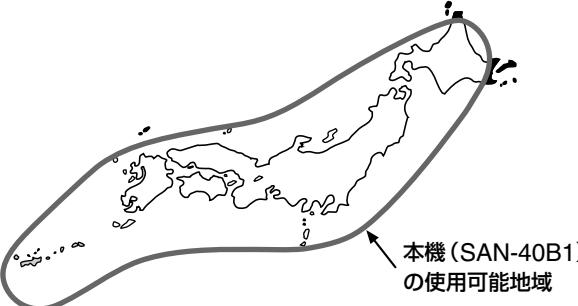
手順2：設置場所を決める

BS放送をお楽しみいただくために、アンテナを衛星の方向に合わせて正しく設置する必要があります。

アンテナ使用地域について

雨の影響がない状況下では、地図の□で囲った地域で、このアンテナで受信できます。

■の地域では50cm径のBS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナSAN-50B1のご使用をおすすめします。詳しくは、お買い上げ店にご相談ください。



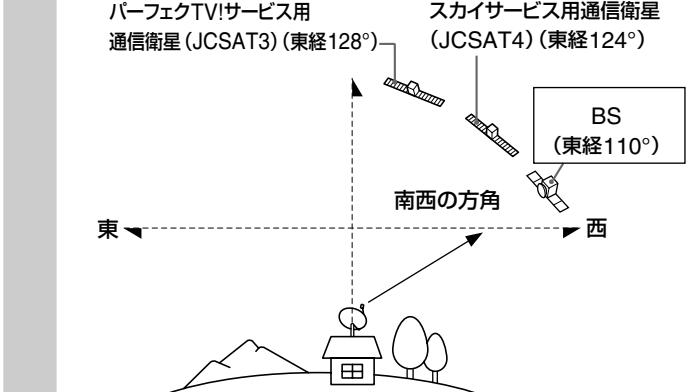
110度CSデジタル放送受信についてのご注意

- 九州北部および山口県では、アンテナの方向調整が不十分なときに、韓国が利用している衛星から干渉を受けることがあります。BS放送は受信できるのに、110度CSデジタル放送が受信できないときは、アンテナをわずかだけ（アンテナの端が約5～10mm動く位）西に向けると110度CSデジタル放送も受信できるようになります。
- 対馬や五島列島では、韓国が利用している衛星の干渉が強いため、40cm径のアンテナは使えません。50cm径のBS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナSAN-50B1をお使いください。

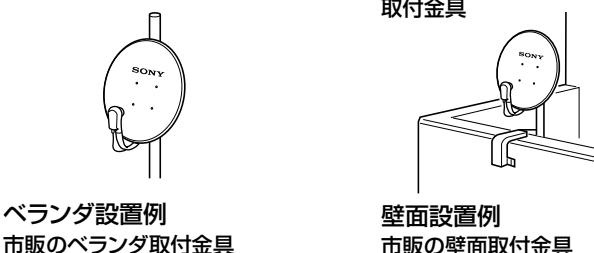
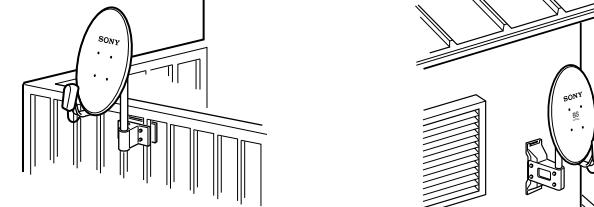
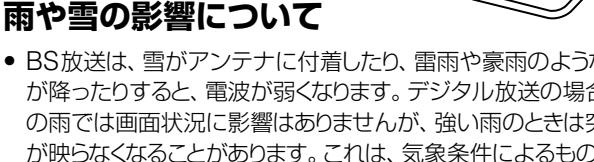
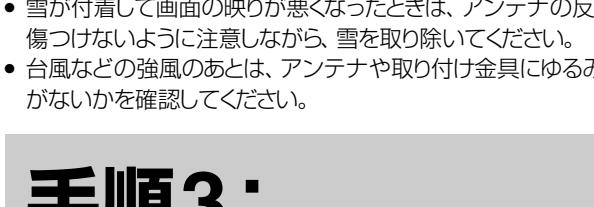
1 以下の条件にあう設置場所を選ぶ。

- 南西を向いている（午後2時ごろの太陽の方角）。
- 電波が来る方向（南西）に建築物や樹木、電線がない。
- 人の通行の妨げにならない。

2 アンテナを南西（午後2時ごろの太陽の方角）に向けて設置できるか確認する。



設置例

アンテナポール設置例
市販のアンテナポールベランダ設置例
市販のコンクリート手すり取付金具壁面設置例
市販の壁面取付金具屋根設置例
市販の屋根馬室内設置例
アンテナスタンド ANH-100（別売り）

雨や雪の影響について

- BS放送は、雪がアンテナに付着したり、雷雨や豪雨のような強い雨が降ったりすると、電波が弱くなります。デジタル放送の場合、多少の雨では画面状況に影響はありませんが、強い雨のときは突然画面が映らなくなることがあります。これは、気象条件によるもので、アンテナやチューナーの故障ではありません。
- 雪が付着して画面の映りが悪くなったり、アンテナの反射鏡を傷つけないように注意しながら、雪を取り除いてください。
- 台風などの強風のときは、アンテナや取り付け金具にゆるみや異常がないかを確認してください。

手順3：アンテナを組み立てる

取り付ける前に

この取扱説明書をよく読んでから、作業を始めてください。お使いのBSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）の取扱説明書を、あわせてご覧ください。

安全のために、次のことを必ずお守りください！

- アンテナを取り付けるときは、チューナーの電源コードを壁のコンセントから抜いてください。
アンテナのコンバーター電源のショートを防止するためです。チューナー本体の電源が入っていないなくても、壁のコンセントにつながっているだけで、ショートします。
- アンテナを取り付けるのに危険や不安を感じるときは、お買い上げ店や業者に取り付けをご依頼ください。
- 風の強い日や、雨、雪などの天候の悪い日は、危険ですので取り付け作業は行わないでください。
- アンテナを落としたり、ぶつけたり、強い衝撃を与えたないように注意してください。
- 組み立てや調整のため以外のネジやボルトは、回さないでください。
- マンションやアパートなどによっては、取り付けに規制のあることがあります。管理組合や自治会などに必ずご確認のうえ、取り付けてください。

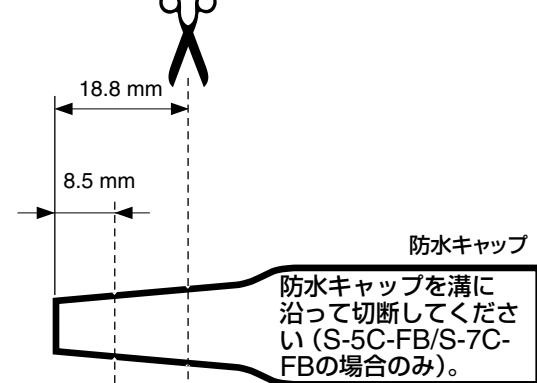
ご注意

ベランダに取り付ける場合のご注意

- 2階以上のマンションやアパートなどベランダの外側に出る部分に取り付けたときは網などを付けて、部品や工具の落下を防ぎ、充分に注意して取り扱ってください。
- ベランダの耐久力によって取り付けられないことがあります。また、鉄製その他の場合は、腐食していないことを確認してください。取り付けにあたっては、安全性や信頼性を充分考慮してください。

F型コネクターを同軸ケーブルに取り付ける

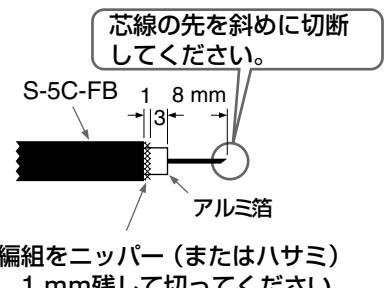
1 同軸ケーブルがS-5C-FBまたはS-7C-FBの場合は、付属の防水キャップを溝に沿って切断する（S-4C-FBの場合は切斷しないでください）。



2 ケーブルを防水キャップに通す。



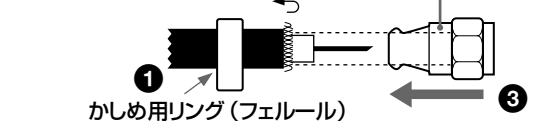
3 ケーブルを加工する。



4 F型コネクターを取り付ける。

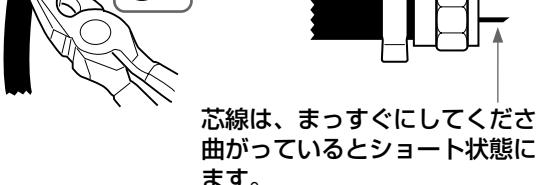
付属のF型コネクターは5C用です。

- かしめ用リングをケーブルに通す。
- あみ線（銅編組）を折り返す。
- プラグを強く押し込む。



5 かしめ用リングをペンチで圧着する。

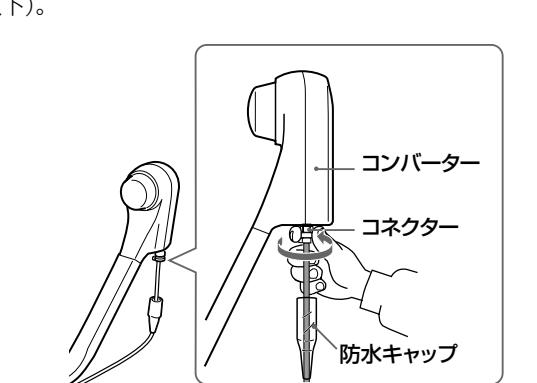
プラグが抜けないように、プラグの根元で、しっかりと圧着してください。

芯線は、まっすぐにしてください。
曲がっているとショート状態になります。

同軸ケーブルをコンバーターアームにつなぐ

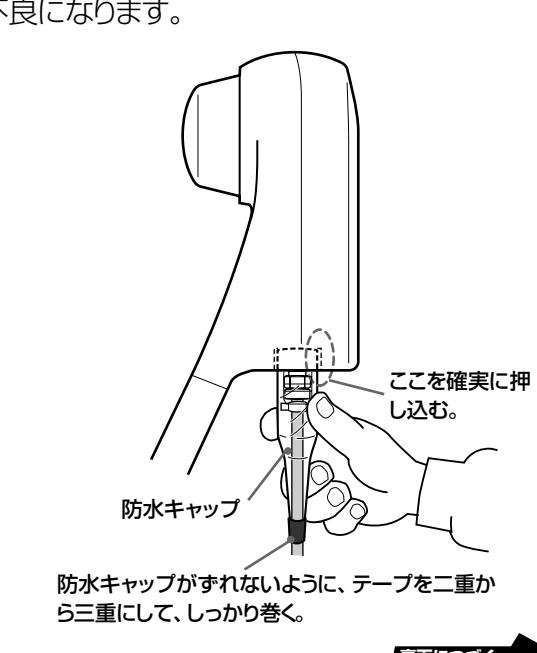
1 サテライト用同軸ケーブルとコンバーターをつなぐ。

- ショート防止のため、BSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）やブースターなどの電源コードは、壁のコンセントから抜いてください。
アンテナのコンバーター電源のショートを防止するためです。テレビやチューナーの電源が入っていないなくても、それらの電源コードが壁のコンセントにつながっているだけで、ショートします。

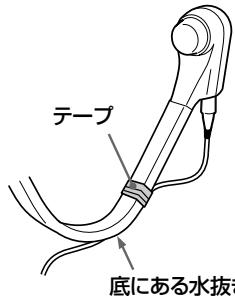


2 防水キャップを確実に押し込み、下側にテープを巻く。

防水キャップがずれていると、雨水が入って受信不良になります。



3 テープを巻いてケーブルを固定する。



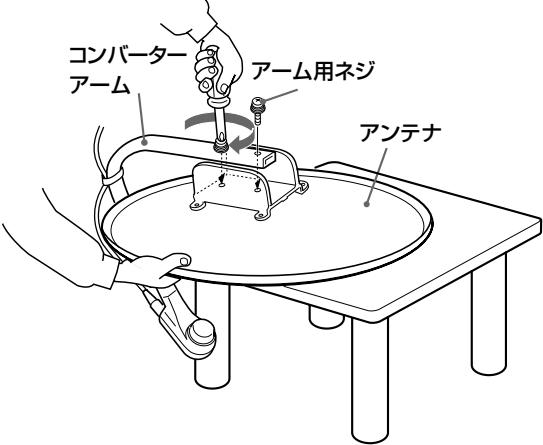
ご注意
同軸ケーブルをペランダの角など尖ったところにテープで固定しないでください。
同軸ケーブルの内部で断線することがあります。

4 サテライト用同軸ケーブルを室内に引き込む。

ご注意
室内への引き込みについて、壁などに加工が必要なときは、必ず専門業者や工事施工者に依頼してください。また、マンションやアパートなどによっては、部屋の加工などに規制のあるところがあります。管理組合や自治会などに必ずご確認の上、取り付けてください。

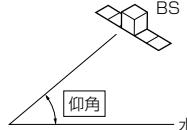
コンバーターアームをアンテナに取り付ける

プラスドライバーを使って、アーム用ネジで2か所をとめる。

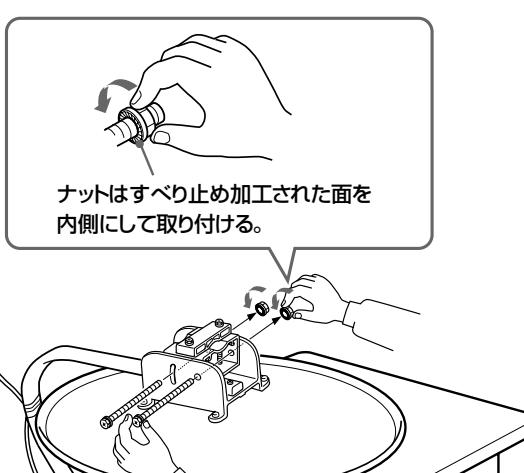


アンテナの仰角(上下角度)を合わせる

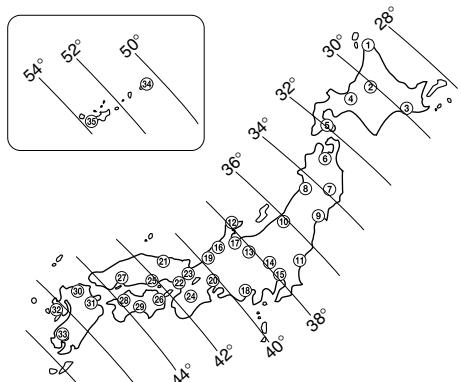
ご注意
仰角(上下角度)は、地面に対してBSを仰ぎ見る角度です。



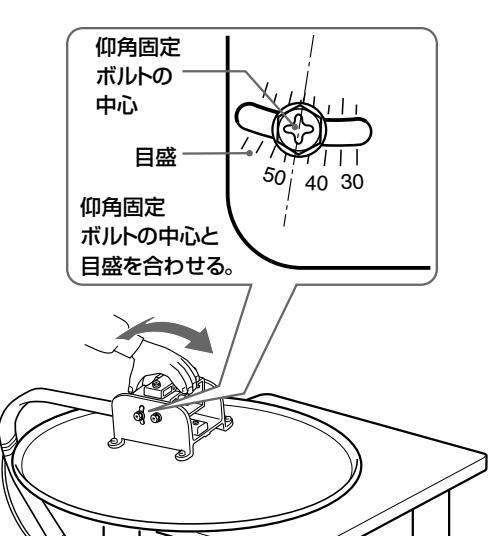
1 アンテナ背面の穴と取付金具の穴を合わせてボルトを差し込み、ナットを取り付ける。



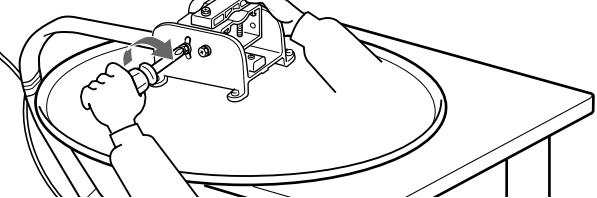
2 下の図表を目安にして、仰角を合わせる。 仰角固定ボルトの中心と目盛を合わせさせてください。



地域	仰角(°)	地域	仰角(°)	地域	仰角(°)
①稚内	29	⑩長野	38	⑪岡山	42
②旭川	30	⑪前橋	38	⑫徳島	42
③釧路	30	⑫東京	38	⑬広島	43
④札幌	31	⑬金沢	39	⑭松山	44
⑤函館	32	⑭富山	39	⑮高知	44
⑥青森	33	⑮静岡	39	⑯福岡	45
⑦盛岡	34	⑯福井	40	⑰大分	45
⑧秋田	35	⑰名古屋	40	⑱長崎	46
⑨仙台	35	⑲鳥取	41	⑲鹿児島	47
⑩新潟	36	⑲大阪	41	⑳名瀬	51
⑪水戸	37	⑳京都	41	㉑那覇	54
㉒輪島	38	㉒津	41		



3 プラスドライバーでボルトを締める。 プラスドライバーを矢印の方向に回してください。

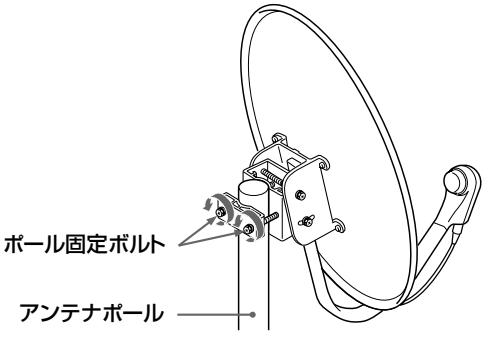


手順4：アンテナを取り付ける

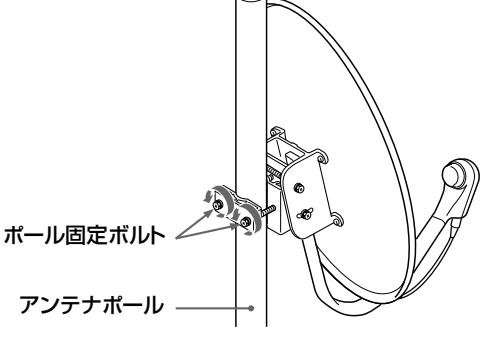
アンテナをアンテナポールに取り付ける

アンテナやボルトが落さないように、充分気を付けて取り付けてください。

1 ポール固定ボルトをゆるめ、アンテナ取付金具でアンテナポールをはさむ。

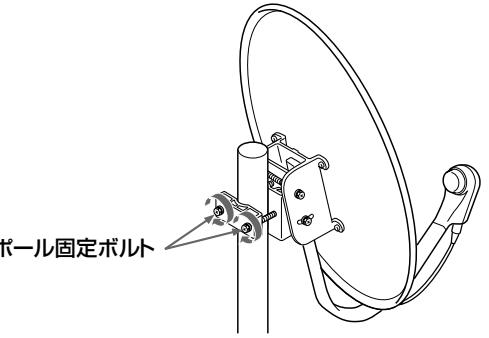


仰角が48°以下の地域では、アンテナポールの中間に取り付けることもできます。



2 ポール固定ボルトをプラスドライバーで仮止めする。

プラスドライバーを矢印の方向に回してください。



手順5：アンテナの角度を調整する

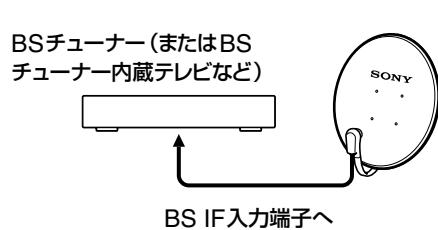
1 BSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）の電源コードが、壁のコンセントから抜いてあることを確認する。

△注意

アンテナのコンバーター電源のショートを防止するためです。テレビやチューナーの電源が入っていないなくても、それらの電源コードが壁のコンセントにつながっているだけで、ショートします。

2 アンテナとBSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）をつなぐ

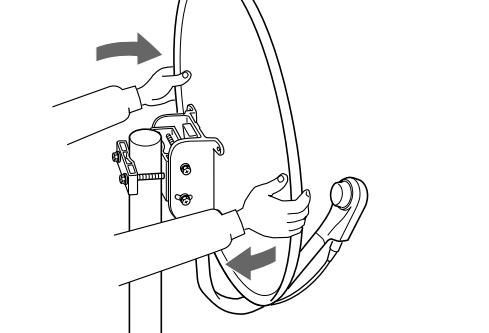
接続のしかたは、BSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）の取扱説明書をご覧ください。



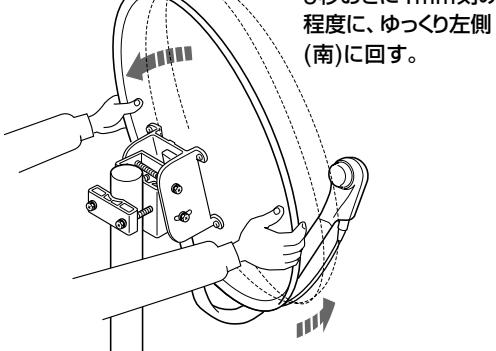
3 BSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）の電源コードをつなぎ、電源を入れ、BS放送の受信設定をし、BSアンテナレベルの設定画面を表示させる。

詳しくは、BSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）の取扱説明書をご覧ください。

4 アンテナをいったん右側（西）に向ける。

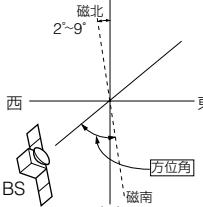


5 アンテナをゆっくりと左側（南）に回して、受信レベルが大きくなる方向に向ける。



BSは、ほぼ南西の方向（午後2時ごろの太陽の位置）にあります。

方位角（左右角度）は、方位磁石の示す南（磁南）とBSとの間の角度です。お住まいの地域の方位角（左右角度）は、下記の表を参照してください。

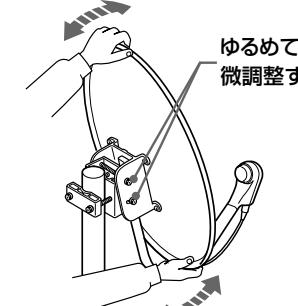


地域	方位角(°)	地域	方位角(°)	地域	方位角(°)
①稚内	50	⑩長野	49	㉑岡山	44
②旭川	51	㉑前橋	50	㉒徳島	45
③釧路	53	㉒東京	51	㉓広島	42
④札幌	50	㉒金沢	47	㉔松山	43
⑤函館	50	㉒富山	48	㉕高知	44
⑥青森	50	㉒静岡	50	㉖福岡	40
⑦盛岡	51	㉒福井	46	㉗大分	41
⑧秋田	50	㉒名古屋	48	㉘長崎	39
⑨仙台	51	㉒鳥取	44	㉙鹿児島	41
⑩新潟	49	㉒大阪	46	㉚名瀬	39
⑪水戸	51	㉒京都	46	㉛那覇	38
㉒輪島	47	㉒津	48		

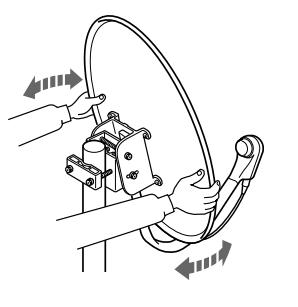
6 受信レベルが少しでも大きくなるように、アンテナの仰角（上下角度）と方位角（左右角度）を微調整する。

受信レベルの数値は、BSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）の取扱説明書をご覧ください。

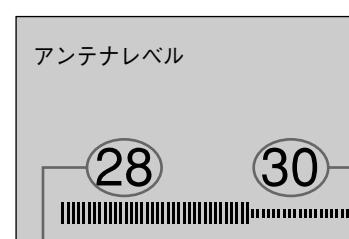
仰角（上下角度）の微調整のしかた



方位角（左右角度）の微調整のしかた



受信設定画面例



現在の受信レベル
今まで入ってきた電波の最大受信レベルに少しでも近くするようにアンテナを微調整する。

BSデジタル放送のアンテナレベルについて

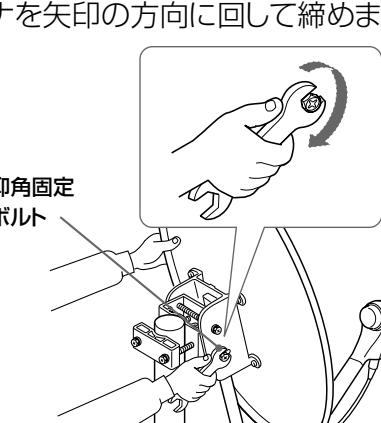
BSデジタル放送の場合は、多少電波が弱くなても画面や音声が乱れたりすることがないため、映っている画面がくら良くても、レベル自体が最大になっているとは限りません。そのため、受信中のアンテナレベルが最も良いレベルで設定できるようするために、次のことをしてください。

- コンバーターに、濡らしてきつづけた薄い布（布巾など）で覆いかけた上でアンテナレベルを調整し直してみる。（雨天時を想定した設定です。）

7 アンテナが動かないように押さえながら、仰角固定ボルトとポール固定ボルトをスパナでしっかりと締める。

アンテナが動いて、アンテナレベルが変わってしまったときは、再び手順6と7を行って、微調整してください。

スパナを矢印の方向に回して締めます。



ご注意

- 強風によってアンテナが動いて受信レベルが下がり、受信状態が悪くなることがあります。このときは、天候が回復した後、再びアンテナの向きを調整し直してください。
- 九州北部および山口県では、アンテナの方向調整が不十分なときに、韓国が利用している衛星から干渉を受けることがあります。110度CSデジタル放送が受信できないときは、アンテナをわずかだけ（アンテナの端が約5~10mm動く位）西に向ける110度CSデジタル放送も受信できるようになります。
- 対馬や五島列島では、韓国が利用している衛星の干渉が強いため、40cm径のアンテナは使えません。50cm径のBS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナ SAN-50B1をお使いください。

アンテナのお手入れについて

- アンテナの反射鏡を固いものでこすったり、傷つけたりしないでください。
- アンテナの反射鏡の汚れは、水またはうすい中性洗剤溶液を少し含ませた柔らかい布で、軽く拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためますので、使わないでください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受けとりください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを次の点に注意して、もう一度お調べください。

- サテライト用同軸ケーブルは、正しく接続されていますか？
- BSチューナー（またはBSチューナー内蔵テレビなど）のコンバーター電源は正しく設定されていますか？
- アンテナは正しく組み立てられていますか？
- BSの方向に障害物はありませんか？
- アンテナは正しくBSの方向を向いていますか？

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

ご相談になるときは、次のことをお知らせください。

型名：BS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナ SAN-40B1
故障の状態：できるだけくわしく
お買い上げ年月日：

お買い上げ店

TEL.

お近くのサービスステーション

TEL.

主な仕様

BS・110度CSデジタルハイビジョンアンテナ SAN-40B1

アンテナ形式	オフセット型パラボラアンテナ
受信周波数範囲	11.7~12.75GHz
受信偏波	右旋円偏波
性能指数 (G/T)	13.1dB (標準)
アンテナ利得	32.8dB (標準)
開口効率	77%
ビーム半値角	4.0°
反射鏡短径	400mm
BSコンバーター音響指数	0.6dB (標準)
BSコンバーター利得	54±5dB
位相雑音	-60dB以下 (1kHz)
ローカル周波数	10.678GHz
出力周波数	1022~2072MHz
出力構造	F型75Ωコネクター
出力VSWR	2.0以下
使用温度範囲	-30~+50°C
耐風速	50m/s
電源電圧	DC 15V (出力端子から供給)
消費電力	1.5W
外形寸法 (幅/高さ/奥行)	410×541×422mm
本体質量	約1.0kg

付